

平成26年度

# 事業報告書

自 平成26年4月 1日  
至 平成27年3月31日

愛知県公立大学法人

## I 大学の概要

### (1) 現況

#### ① 法人名

愛知県公立大学法人

#### ② 所在地

長久手市茨ヶ廻間 1 5 2 2 番 3

#### ③ 役員の状況

理事長 笹津 恭 士

副理事長 2名

理事 3名

監事 2名

#### ④ 大学の概要

##### ○ 学部等の構成

##### ・愛知県立大学

(学部)

外国語学部、日本文化学部、教育福祉学部、看護学部、情報科学部

(研究科)

国際文化研究科、人間発達学研究科、看護学研究科、情報科学研究科

(全学教育研究組織)

入試・学生支援センター、教育支援センター、教養教育センター、

学術研究情報センター、地域連携センター、看護実践センター

##### ・愛知県立芸術大学

(学部)

美術学部、音楽学部

(研究科)

美術研究科、音楽研究科

(全学教育研究組織)

芸術教育・学生支援センター、芸術創造センター、芸術情報センター、芸術資料館

##### ○ 学生数及び教職員数（平成26年5月1日現在）

##### ・愛知県立大学（新・旧）

学部学生 3, 3 1 3名

大学院学生 2 2 4名

教員 2 1 6名

##### ・愛知県立芸術大学

学部学生 8 1 4名

大学院学生 1 7 7名

教員 8 8名

##### ・法人事務局

職員 1 8 6名

## (2) 大学の基本的な目標等

### ① 愛知県立大学

愛知県立大学は、平成 21 年 4 月に当時の愛知県立大学と愛知県立看護大学を統合し、「豊かな人間性と高い知性を備え、かつ、国際性、創造性及び実践力に富む有為な人材を育成する」ことを目指した新愛知県立大学としてスタートした。現在は、長久手キャンパスと守山キャンパスを合わせて 5 学部 10 学科と大学院 4 研究科から構成されている。

#### ○ 愛知県立大学の理念

- 1 21 世紀の「知識基盤社会」において、教員と学生が相互に啓発し合いながら「知の拠点」を目指す。
- 2 「地方分権の時代」における公立の大学として、良質の研究とそれに裏付けされた良質の教育を行い、その成果を社会に還元する。
- 3 「成熟した共生社会」の実現を目指して、教育研究と地域連携を進める。

### ② 愛知県立芸術大学

芸術は、太古から人間の暮らしに潤いを与え続け、常に人間の歴史とともにあった。人間は、芸術によって、自己を革新し、硬直する人間の思考を柔軟なものにしてきた。そして、優れた芸術は人間に知的な飛躍をもたらすものである。

愛知県立芸術大学は、独自の豊かな文化・芸術の伝統が育まれてきた愛知県に創設された「芸術の場」であり、当地域の芸術文化を育み、県内外に発信していくことが求められている。そのために本学は、開学以来培ってきた歴史を継承し、さらに発展させていく必要がある。

愛知県立芸術大学は、個性的で魅力ある大学として、また、愛知が生んだ芸術文化の拠点として、国際的にも開かれた芸術文化の核となることを目指し、大学の理念を次のとおりとする。

#### ○ 愛知県立芸術大学の理念

- 1 学部から大学院までの一貫した教育研究体制をとることにより、芸術家、研究者、教育者など芸術文化に携わる優れた人材の育成を目指す。
- 2 広い視野を持った高度な芸術教育を通して、国際的な芸術文化の創造の核となることを目指す。
- 3 教育・産業・生活文化など様々な分野で本学の持つ芸術資源を有効に活用し、地域社会と連携して、芸術文化の発展に貢献することを目指す。

## II 平成26年度事業実績

第 2 期中期計画 2 年目となる今年度は、中期計画 8 8 項目について取り組んだ結果、教育研究活動をはじめ 2 大学の管理運営全体について、概ね年度計画を達成した。主な取組は以下のとおりである。

## 1 大学の教育研究等の質の向上

### 1-1 愛知県立大学

#### (1) 教育

- 入学者選抜
  - ・学生本位のオープンキャンパスの実施
  - ・オープンキャンパスにおいて、新たに保護者向け説明会を実施
- 学部・大学院教育
  - ・教養教育の新カリキュラムの実施
  - ・教養教育新カリキュラム検証のための科目群会議を開催
  - ・教養英語担当ネイティブ教員を採用、「英語」授業を増加（H25：15%→H26：61%）
  - ・新たに県大オリジナルの「複合型インターンシップ」の企画・実施
  - ・コース制（言語系・社会系）を導入した新カリキュラムの実施（外国語学部）
  - ・看護師・保健師・助産師すべての国家試験合格率100%を達成（看護学部）
  - ・大学院用教室の増築、使用開始（H26後期～）（看護学研究科）
- 学生への支援
  - ・ショートプログラムの開発（外国語学部全学科専攻の言語圏）・充実
  - ・英語圏5大学を含む協定校の拡大（新たに14大学・機関）
  - ・協定大学への海外留学の促進（H25：87名→H26：205名）
  - ・留学生受入促進のため、留学生対象科目を新たに設定（15科目）
  - ・「大学の世界展開力強化事業（海外との戦略的高等教育連携支援）」に申請、採択（日本文化学部・外国語学部、金沢大学と共同）
  - ・グローバル人材育成支援プログラム委員会の中間評価において「A」評価を獲得
  - ・公務員相談コーナーの新たな設置など、キャリア相談体制を強化
  - ・障害学生支援室の準備WG立ち上げ

#### (2) 研究

- ・受託研究・共同研究の推進
- ・科学研究費補助金への申請を促進（申請率H25：87.4%→H26：88.8%）
- ・新たに開設した学術研究情報センターホームページによる競争的資金最新情報の発信

#### (3) 地域連携・貢献

- ・ESDユネスコ世界会議に学生54名がボランティアとして協力
- ・愛知県「知の拠点」における「超早期診断技術開発プロジェクト」への参画
- ・名古屋市立大学との連携による公開講座の開催

### 1-2 愛知県立芸術大学

#### (1) 教育

- 入学者選抜
  - ・自己推薦入試定員変更の決定（彫刻）、他の美術系大学の試験日との調整（陶磁）
- 学部・大学院教育
  - ・国際交流室専任職員による語学学習相談の開始
  - ・図書館に「語学学習コーナー」を設置
  - ・サレルノ大学におけるイタリア語短期研修を設定し、学生を派遣（3名）
- 学生への支援
  - ・「国際交流室」における専任職員個別相談を実施（新規訪問者数100人）
  - ・ワイマール・フランクフルト・リスト音楽大学始め3校と協定を新たに締結

- ・ 利便性向上のため学生相談室の移設・独立化
- ・ ノートテイクカーとして学生アルバイトを雇用し、聴覚障害学生の学習を支援

## (2) 研究

- ・ 協定校等への教員派遣により、積極的な海外交流を実施。(6大学18名)
- ・ 日本画専攻始め4専攻8件の受託研究を推進 (H25：2専攻4件)

## (3) 地域連携・貢献

- ・ 学長作品や芸術講座関連の展示等の企画充実による栄サテライトギャラリー入場者数の増加 (入場者数 H25：3,622人→H26：4,346人)
- ・ 文化財保存修復研究所設立 (専任職員・実習担当教員の配置)
- ・ 27年度文化財保存修復研究所施設完成に向けた設計の実施

## 2 法人運営の改善

- ・ 7月の組織改編による管理部門の集中・集約化、大学業務部門等への人員再配置
- ・ 「大学教学改革人材育成諮問会議」を設置し、将来構想担当副学長及び将来構想室の設置を決定
- ・ 出張旅費システムの導入、教職員閲覧用WEBサイトの開設
- ・ 「芸大ECOプロジェクト2014」の組成による課題解決手法の実践、職員の意識改革推進

## 3 財務内容の改善

- ・ 受託研究費や科学研究費補助金等を含めた外部資金の獲得

[単位：件/千円]

区分	年度	県立大学		芸術大学	
		件数	金額	件数	金額
奨学寄附金 (利子含む)	25	9	11,600	6	4,205
	26	12	12,901	293	39,453
受託研究費	25	1	210	4	6,666
	26	3	4,492	8	11,410
共同研究費	25	12	9,823	1	5,000
	26	13	11,713	1	4,482
科学研究費 補助金等	25	153	167,202	8	7,969
	26	155	143,373	9	13,866
受託事業費等	25	3	1,782	7	4,168
	26	2	2,995	13	13,523
その他補助金	25	4	86,441	0	0
	26	4	77,892	3	1,700
計	25	182	277,058	26	28,008
	26	189	253,366	327	84,434

注1) 科学研究費補助金等の金額については、当該年度の分担金相当額を含めた実受入金額とし、転出及び他機関へ送金する分担額は除く。

注2) 金額については、千円未満を切り捨て

- ・一般管理費比率

施設整備・維持管理修繕等の増加により、前年度比1.0%増加

	H25	H26
業務費	6,812,729 千円	6,944,692 千円
一般管理費	528,794 千円	622,653 千円
一般管理費比率※	7.2%	8.2%

※一般管理費比率＝一般管理費／（業務費＋一般管理費）（特殊要因除く）

※金額については、千円未満を切り捨て

#### 4 自己点検・評価及び情報の提供

- ・広報担当者会議を新たに開催し、広報意識・ノウハウの共有化
- ・創立50周年記念事業の概要を決定のうえ趣意書を作成し、寄附金の募集を開始（芸術大学）

#### 5 その他業務運営

- ・非常電源確保のため、屋根貸しによる太陽光発電事業の実施決定（県立大学長久手キャンパス）
- ・関係規程を整備のうえ、県立大学グラウンドの貸出を開始
- ・情報セキュリティ教育のためのeラーニング研修導入（H27～）を決定

### Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

#### 1 予算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,969	4,882	△ 87	
自己収入	2,842	2,824	△ 18	
授業料及び入学金検定料収入	2,715	2,691	△ 24	
雑収入	127	133	6	
受託研究等収入及び寄附金収入	243	215	△ 28	
目的積立金取崩	470	241	△ 229	
計	8,524	8,162	△ 362	
支出				
業務費	7,876	7,333	△ 543	
教育研究経費	1,285	1,206	△ 79	
一般管理費	1,129	995	△ 134	
人件費	5,462	5,132	△ 330	
施設整備費	405	333	△ 72	
受託研究等経費及び寄附金事業費等	243	172	△ 71	
計	8,524	7,839	△ 685	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

## 2 収支計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
費用の部	7,917	7,626	△ 291	
經常費用	7,917	7,611	△ 306	
業務費	6,612	6,417	△ 195	
教育研究経費	1,101	1,141	40	
受託研究費等	49	40	△ 9	
人件費	5,462	5,236	△ 226	
一般管理費	501	488	△ 13	
財務費用	40	44	4	
減価償却費	764	663	△ 101	
臨時損失	0	15	15	
固定資産除却損	0	1	1	
訴訟関連損失	0	15	15	
収入の部	7,918	7,844	△ 74	
經常収益	7,918	7,844	△ 74	
運営費交付金収益	4,969	4,882	△ 87	
授業料等収益	2,349	2,472	123	
受託研究収益等	202	145	△ 57	
財務収益	2	1	△ 1	
雑益	167	164	△ 3	
資産見返運営費交付金等戻入	168	157	△ 11	
資産見返物品受贈額戻入	61	22	△ 39	
臨時利益	0	1	1	
資産見返物品受贈額戻入等	0	1	1	
純利益	0	218	218	
目的積立金取崩	—	39	39	
総利益	0	257	257	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

### 3 資金計画

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
資金支出	14,597	18,416	3,819	
業務活動による支出	7,400	6,708	△ 692	
投資活動による支出	6,415	10,487	4,072	
財務活動による支出	554	522	△ 32	
次期への繰越金	228	699	471	
資金収入	14,597	18,416	3,819	
業務活動による収入	8,054	7,807	△ 247	
運営費交付金による収入	4,969	4,882	△ 87	
授業料及び入学科検定料による収入	2,715	2,570	△ 145	
受託研究等収入	166	46	△ 120	
寄附金収入	36	52	16	
補助金収入	—	80	80	
その他収入	168	178	10	
投資活動による収入	5,738	9,375	3,637	
前期よりの繰越金	805	1,234	429	

(注) 金額は、百万円未満を四捨五入しておりますので、合計金額と一致しないことがあります。

#### IV 短期借入金の限度額

該当ありません。

#### V 重要な財産の譲渡、又は担保に供する計画

該当ありません。

#### VI 剰余金の使途

該当ありません。